



親子で楽しむYMCAキャンプ

磯崎美樹 & 心紀

Isozaki Miki & Minori

大阪YMCA キャンプメンバー

▼YMCAとの出会い

YMCAキャンプとの出会いは7年前にさかのぼります。人見知り、場所見知りのはげしかった娘が幼稚園の宿泊訓練があるので、場所だけでも慣れることができればと思い、参加したキャンプがYMCAキャンプでした。その後、親子で参加できるキャンプもあるとのことで親も一緒に参加させていただきました。そこから現在に至るまで、毎年子どものキャンプや、親子のキャンプに参加し続けています。親子でYMCAキャンプの魅力に夢中になっています。私たち親子が感じているYMCAキャンプの魅力は、一言でいうと「アットホームさ」です。スタッフやリーダーのみなさんのキャンプ参加者一人ひとりに対する親切で丁寧な関わり方が、とても大好きです。娘が幼稚園で初めて参加したときも「本当に大丈夫かしら」「一人で不安にならないかな」などと心配ばかりしていました。

しかし、初めてのキャンプから帰ってきた娘の第一声は、「またキャンプに行きたい」でした。話を聞いてみると、1日目からリーダーから名前を呼ばれたこと、いつも声をかけてくれてグループの輪の中にも入っていくことができたことがとても楽しかったそうです。そんな娘の様子を見て、親の私もYMCAキャンプに参加してみたいと思ったことを覚えています。

▼親子で楽しむYMCAキャンプ

親子で参加できるキャンプは、娘の成長を促してくれているスタッフやリーダーの関わりを直接見ることができる機会があること、また親自身もその関わりを実感できることが魅力でもあります。娘は今でも声をかける時には緊張すると言っていますが、YMCAキャンプに参加を重ねていく中で、徐々に人見知りがなくなり、初めて会った子にも自分から声をかけることができるようになりました。経験のある年上の子どもたちが年下の子どもたちに声をかけたり、キャンプ生活でお世話やサポートをしたりするを通して、異年齢の関係構築が自然にできあがっていると感じました。娘自身が、自分が歩んできた中で感じてきたことを、自分が伝えていきたいという想いを抱いています。このような娘の変化も、YMCAキャンプから得たものであると実感しています。

YMCAキャンプでの思い出は楽しかったことばかりです。多分、中には大変だったこともあったのですが、今から思い出すとそれも良い思い出になっているのが不思議です。カヤックでデイトリップに出かけた時に、急な雨が降り寒くなったときには、リーダーのみなさんが温かい煮込みラーメンを作ってくれて、とてもおいしくいただきました。また台風の影響で屋外での活動ができなかった時には、夏祭りとして屋内での夜店や子どもたちだけのナイトハイクを企画してくれて、楽しい時間を過ごすことができました。リピーターのご家族も多く、キャンプの度にお会いしているとまるで親戚のような感じになってきます。



親子で参加できる活動が増えていること、自分たちだけではできない活動も安心・安全にチャレンジできるよう整えていただけること、多くの方々と交流できる機会を持てることも私たちがYMCAキャンプのことを好きな要因です。娘は今春、小学校を卒業しました。YMCAキャンプに関わってくださった皆様に本当に感謝です。クラブ活動やいろんな活動の機会が広がりますが、これからも機会があればYMCAキャンプにぜひ参加したいと思います。

もしも願いが叶うことなら、もう一度、娘と一緒に小学校1年生からやってみたいなあと
思う今日この頃です。

Profile



心紀さんが幼稚園のときにYMCAキャンプと出会う。紀泉わいわい村では春秋冬と田んぼや畑での農業体験や野外料理、五右衛門風呂など、日高少年自然の家では磯観察や釣り、シーカヤックやカヌーに海水浴など、毎年親子一緒にYMCAキャンプへ参加している。

【取材：大阪YMCA 仲原成岳】